

# *WORKING PAPER*

SUBMITTED BY REPUBLIC OF CHAD

各国大使の皆様こんにちは。

まずはわが国の現状を簡単にご紹介させて頂きたいと思います。

～チャドの現状～

さて、皆さんは、わが国をどの程度ご存知でしょうか？

今わが国では、大きく分けて2つの内戦が起こっています。

## 対立構造

\*国内\*

- ① 南部（キリスト教圏） v s 北部（イスラム教圏）
- ② 反政府武装勢力 UFDD（民主主義及び開発発展のための連合）による、東部主要都市アベシェーの制圧

\*国外\*

隣国スーダンとの対立

## 政経

国土の北半分がサハラ砂漠（乾燥地帯）・南半分をサバナ地帯（降水量が多い）

極度の水不足（乾燥+蓄水に向かない土地より）

↓

産業が偏る

輸出：綿花（70%）、畜産業

※最近、南部で油田が見つかり原油が80%輸出されている。

以上より、わが国の内情を少しでもご理解いただけたのなら、幸いです。

本題に移ります。

わが国の内乱は主に東部で生じておりますが、この地域の現状は不透明です。隣国スーダンとの紛争により生じた難民は数多く、それに伴って UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）やユニセフが難民キャンプを設置し、現在は24万人の難民の方々が生活しています。

言うまでも無く、トイレの普及率は芳しくありません。キャンプ内の仮設トイレは雨季になれば排泄物が流出し、不衛生な環境を作り出しています。この状況下で早急にトイレを設置する必要があるのか、わが国は結論を出すに至っておりません。